



令和5年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和5年5月10日

上場会社名 パラカ株式会社
コード番号 4809 URL <https://www.paraca.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
四半期報告書提出予定日 令和5年5月15日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6841-0809

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年9月期第2四半期の業績(令和4年10月1日～令和5年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年9月期第2四半期	7,182	14.8	1,433	35.2	1,327	38.8	901	35.4
4年9月期第2四半期	6,256	5.2	1,060	19.9	956	22.7	665	28.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年9月期第2四半期	90.11	89.50
4年9月期第2四半期	66.66	66.59

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年9月期第2四半期	38,694	17,171	44.3
4年9月期	37,671	16,886	44.7

(参考)自己資本 5年9月期第2四半期 17,135百万円 4年9月期 16,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年9月期		0.00		62.00	62.00
5年9月期		0.00			
5年9月期(予想)				64.00	64.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 令和5年9月期の業績予想(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,400	11.0	2,710	20.3	2,480	21.6	1,700	21.9	169.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年9月期2Q	10,305,600 株	4年9月期	10,304,600 株
期末自己株式数	5年9月期2Q	304,178 株	4年9月期	305,633 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年9月期2Q	9,999,578 株	4年9月期2Q	9,986,023 株

(注)期末自己株式数には、従業員株式給付信託が保有する自社の株式(5年9月期2Q 248,900株、4年9月期 249,655株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日）における我が国の経済は、ウィズコロナを前提とした社会経済活動の再開が進み、経済活動は正常に近づいております。

当社の属する駐車場業界においては、経済活動の正常化に伴い、売上高は全国的に改善がみられており、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比14.8%増となりました。

このような状況において、当社は引き続き積極的な営業活動を行い、新規駐車場の開設を進めるとともに、既存駐車場においても料金変更を機動的に行うなど採算性向上に努めました。

その結果、当第2四半期累計期間においては、106件1,351車室の新規開設、46件623車室の解約等により、60件728車室の純増となり、3月末現在2,179件33,580車室が稼働しております。

上記により、当第2四半期累計期間の売上高は7,182百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益1,433百万円（同35.2%増）、経常利益1,327百万円（同38.8%増）、四半期純利益901百万円（同35.4%増）を計上いたしました。

当社の駐車場形態ごとの状況は以下の通りであります。

(賃借駐車場)

当第2四半期累計期間においては、97件1,103車室の開設及び、46件623車室の解約等により、51件480車室の純増となりました。その結果、3月末現在1,918件28,570車室が稼働しております。売上高は5,769百万円（前年同期比14.7%増）、売上総利益は1,171百万円（同26.3%増）となりました。

(保有駐車場)

当第2四半期累計期間においては、札幌市1件8車室、秋田市1件39車室、高崎市1件24車室、東京都江東区1件2車室、京都市1件2車室、大阪市3件166車室、福岡市1件7車室を新規開設いたしました。その結果、9件248車室の増加となり、3月末現在においては261件5,010車室が稼働しております。売上高は1,153百万円（同17.8%増）、売上総利益は937百万円（同20.5%増）となりました。

このほか、当第2四半期累計期間において、函館市2件14車室分、横浜市4車室分、大阪市16車室分の駐車場用地を取得しており、第3四半期以降のオープンを予定しております。

(その他売上)

当第2四半期累計期間においては、不動産賃貸収入、自動販売機関連売上、バイク・バス・駐輪場売上、太陽光発電売上等により、売上高は260百万円（同4.7%増）となりました。

当事業年度における駐車場形態ごとの販売実績は以下のとおりです。

	前第2四半期累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)	前事業年度 (自 令和3年10月1日 至 令和4年9月30日)
駐車場形態	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
賃借駐車場	5,028	5,769	10,413
保有駐車場	978	1,153	2,036
その他売上	248	260	524
合計	6,256	7,182	12,974

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は38,694百万円となり、前事業年度末に比べ1,023百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産における土地の増加(1,368百万円)、流動資産における現金及び預金の減少(339百万円)によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債の部は21,523百万円となり、前事業年度末に比べ739百万円増加いたしました。これは主に借入金の増加(700百万円)によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産の部は17,171百万円となり、前事業年度末に比べ284百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加(265百万円)によるものであります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の44.7%から44.3%となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前事業年度末に比べ339百万円減少し、3,591百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は前年同四半期に比べ452百万円増加し、1,263百万円となりました。これは主として、税引前四半期純利益1,318百万円、減価償却費256百万円、法人税等の支払額403百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は前年同四半期に比べ898百万円増加し、1,509百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1,490百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は前年同四半期に比べ430百万円減少し、93百万円となりました。これは主として、借入れによる収入2,062百万円、借入金の返済による支出1,361百万円、リース債務の返済による支出160百万円、配当金の支払による支出634百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済については、エネルギー価格の高騰に伴う物価高が進んでいるものの、個人消費や雇用環境の回復が続いており、景況感は改善傾向にあります。当社の属する駐車場業界におきましても、特に大都市において時間貸駐車場の供給が不足し、需給バランスがタイトな状況となっております。

このような状況のもと、当社は引き続き積極的な営業活動を行い、既存駐車場においても料金変更を機動的に行うなど採算性向上に努めてまいります。また、不動産デベロッパーや不動産仲介会社との業務提携を活かし、再開発案件や商業施設付帯駐車場案件にも取り組むと共に、保有駐車場用地については、人口動態等の指標を考慮しつつ、その取得に注力することで、業容及び基盤収益の拡大を目指します。

今後につきましても、駐車場売上は堅調に推移すると見込んでおり、令和5年9月期の業績予想数値につきましては、当第2四半期までの実績値を考慮し、売上144億円、営業利益27.1億円、経常利益24.8億円、当期純利益17億円に上方修正いたします。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が公表している見通しと異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和4年9月30日)	当第2四半期会計期間 (令和5年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,961	3,621
売掛金	167	192
前払費用	553	580
その他	39	39
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,721	4,433
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	702	727
機械及び装置（純額）	686	649
土地	29,781	31,149
リース資産（純額）	724	652
その他（純額）	386	403
有形固定資産合計	32,281	33,582
無形固定資産	9	16
投資その他の資産	659	662
固定資産合計	32,949	34,261
資産合計	37,671	38,694
負債の部		
流動負債		
買掛金	296	327
短期借入金	—	158
1年内返済予定の長期借入金	1,992	2,103
未払法人税等	476	493
賞与引当金	39	42
株主優待引当金	12	—
その他	681	709
流動負債合計	3,498	3,834
固定負債		
長期借入金	16,347	16,777
リース債務	473	434
株式給付引当金	38	42
資産除去債務	292	296
その他	133	138
固定負債合計	17,286	17,689
負債合計	20,784	21,523

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和4年9月30日)	当第2四半期会計期間 (令和5年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847	1,848
資本剰余金	2,284	2,286
利益剰余金	13,128	13,394
自己株式	△378	△377
株主資本合計	16,882	17,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6	8
繰延ヘッジ損益	△32	△24
評価・換算差額等合計	△26	△16
新株予約権	30	35
純資産合計	16,886	17,171
負債純資産合計	37,671	38,694

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)
売上高	6,256	7,182
売上原価	4,452	4,926
売上総利益	1,803	2,256
販売費及び一般管理費	743	822
営業利益	1,060	1,433
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
未払配当金除斥益	0	0
受取保険金	0	0
受取手数料	—	1
その他	0	0
営業外収益合計	1	2
営業外費用		
支払利息	104	107
その他	0	0
営業外費用合計	104	108
経常利益	956	1,327
特別利益		
固定資産売却益	29	—
特別利益合計	29	—
特別損失		
固定資産除却損	8	9
特別損失合計	8	9
税引前四半期純利益	978	1,318
法人税等	312	417
四半期純利益	665	901

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	978	1,318
減価償却費	287	256
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	2
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△25	△12
株式給付引当金の増減額(△は減少)	1	4
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	104	107
固定資産除却損	8	9
固定資産売却損益(△は益)	△29	—
売上債権の増減額(△は増加)	△41	△24
仕入債務の増減額(△は減少)	39	30
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△39	△26
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2	72
その他	12	35
小計	1,298	1,774
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△104	△107
法人税等の支払額	△382	△403
営業活動によるキャッシュ・フロー	811	1,263
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△812	△1,490
有形固定資産の売却による収入	213	—
無形固定資産の取得による支出	△1	△8
敷金及び保証金の差入による支出	△11	△9
その他	0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△610	△1,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	446	476
短期借入金の返済による支出	△297	△317
長期借入れによる収入	1,157	1,586
長期借入金の返済による支出	△1,077	△1,044
株式の発行による収入	—	1
自己株式の処分による収入	2	0
リース債務の返済による支出	△191	△160
配当金の支払額	△562	△634
財務活動によるキャッシュ・フロー	△523	△93
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△322	△339
現金及び現金同等物の期首残高	4,152	3,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,830	3,591

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の計算については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、駐車場の開拓及び運営管理に関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。